

基本情報

科目名	武道
時間割コード	0440303601
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	水 2, 木 4
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(総合)

担当教員情報

教員名
平崎 和雄、山下 照喜、石橋 剛士

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者が、それぞれの種目の特性として歴史・基本ルールを知り、基本的な型・稽古の技術を習得する。それらの技術や戦略を指導できるようになる。
履修上の注意事項	中学校・高等学校保健体育教諭免許状を取得希望の学生は必ず受講すること。アスレティックトレーナー取得希望者は受講を推奨する。予習復習をすること(120分)
評価方法	受講態度、提出物、出席を総合的に判断し評価する。
テキスト	なし、必要なプリントを適宜配布することがあります。
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	平崎：全空連二段で道場で指導 石橋：全柔連四段 山下：全剣連七段で高等学校にて指導

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーションと空手道の歴史や基本的ルールや試合・演武を説明できる(平崎)	【事前学修】オリエンテーションの資料を熟読し、わからない事項は下調べしておく。 【事後学修】分からない用語は説明できるようになるまで調べる。	
2	空手道の受け・突き・蹴り及び型の種類、組手の攻防について説明できる(平崎)	【事前学修】オリエンテーションの資料を熟読し、わからない事項は下調べしておく。 【事後学修】分からない用語は説明できるようになるまで調べる。	
3	空手道の型の指導が説明できる(平崎)	【事前学修】オリエンテーションの資料を熟読し、わからない事項は下調べしておく。 【事後学修】分からない用語は説明できるようになるまで調べる。	
4	空手道の組手の指導が説明できる(平崎)	【事前学修】オリエンテーションの資料を熟読し、わからない事項は下調べしておく。 【事後学修】分からない用語は説明できるようになるまで調べる。	
5	空手道の型・組手攻防の指導教育法が説明できる(平崎)	【事前学修】オリエンテーションの資料を熟読し、わからない事項は下調べしておく。 【事後学修】分からない用語は説明できるようになるまで調べる。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	剣道の歴史や基本的ルールや試合を説明できる（山下）	【事前学修】オリエンテーションの資料を熟読し、わからない事項は下調べしておく。 【事後学修】分からない用語は説明できるようになるまで調べる。	
7	剣道の面、胴、籠手の攻防について説明できる（山下）	【事前学修】オリエンテーションの資料を熟読し、わからない事項は下調べしておく。 【事後学修】分からない用語は説明できるようになるまで調べる。	
8	剣道の稽古の指導が説明できる（山下）	【事前学修】オリエンテーションの資料を熟読し、わからない事項は下調べしておく。 【事後学修】分からない用語は説明できるようになるまで調べる。	
9	剣道の試合の指導が説明できる（山下）	【事前学修】オリエンテーションの資料を熟読し、わからない事項は下調べしておく。 【事後学修】分からない用語は説明できるようになるまで調べる。	
10	剣道の攻防の指導教育法が説明できる（山下）	【事前学修】オリエンテーションの資料を熟読し、わからない事項は下調べしておく。 【事後学修】分からない用語は説明できるようになるまで調べる。	
11	柔道の歴史や基本的ルールや試合を説明できる（石橋）	【事前学修】オリエンテーションの資料を熟読し、わからない事項は下調べしておく。 【事後学修】分からない用語は説明できるようになるまで調べる。	
12	柔道の受け身の指導について説明できる（石橋）	【事前学修】オリエンテーションの資料を熟読し、わからない事項は下調べしておく。 【事後学修】分からない用語は説明できるようになるまで調べる。	
13	柔道の投げ技の指導が説明できる（石橋）	【事前学修】オリエンテーションの資料を熟読し、わからない事項は下調べしておく。 【事後学修】分からない用語は説明できるようになるまで調べる。	
14	柔道の寝技の指導が説明できる（石橋）	【事前学修】オリエンテーションの資料を熟読し、わからない事項は下調べしておく。 【事後学修】分からない用語は説明できるようになるまで調べる。	
15	柔道の攻防の指導教育法が説明できる（石橋）	【事前学修】オリエンテーションの資料を熟読し、わからない事項は下調べしておく。 【事後学修】分からない用語は説明できるようになるまで調べる。	

基本情報

科目名	ダンス
時間割コード	0440303701
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	藤崎 道子
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(総合)

担当教員情報

教員名
藤崎 道子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>ダンスは柔軟な身体を維持するために必要とされる身体運動である。</p> <p>本講座で学修者は保健体育科で取り扱う現代的なリズムのダンス・感情表現としての創作ダンス・フォークダンスについて理解を深めながら体を使って自己を表現し、他者とのノンバーバルコミュニケーションを取れるようになることが目的となる。</p> <p>技術の習得では 現代的なリズムでのウォーミングアップを習得し、恥ずかしがらずに、のびやかに動ける身体を身につけることができるようになる。 即興的に動きで感情表現を行いながらストーリーを描けるようになる。 フォークダンスについてリサーチし、その特徴をグループ発表できるようになる。</p> <p>またダンスの要素を取り入れたエアロビック運動としてのエアロビックダンスを体験し、表現としてのダンスの違いを理解し、エアロビックダンスの基礎動作習得および他者への指導ができるようになることを到達目標とする。</p>
履修上の注意事項	<p>実技に支障をきたすようなものを身につけないこと。(アクセサリー)</p> <p>学習指導要項のダンスの分野に必ず目を通しておくこと。(教職希望者)</p> <p>予習・復習として120分の自学習を行うこと。</p>
評価方法	個人技能実技試験(現代的ダンス)20%、グループ発表10%、指導法実技試験(エアロビクス)30%、レポート10%、学習態度30%
テキスト	特になし
参考文献	特になし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>エアロビックダンス指導者として25年、現場指導。</p> <p>公益社団法人 日本フィットネス協会のディレクター及びエグゼクティブとしてエアロビクスに関する資格取得の講習会担当。</p>

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(授業の進め方、成績評価の方法、その他諸注意)ダンスDVD鑑賞	ダンスに関する動画(YouTubeなどを活用)を事前に見ておく。	
2	学校体育における「ダンス」の位置づけとねらい・ダンスとエアロビックダンスとの違いを理解する	授業で学んだダンスの特徴についてノートにまとめる	
3	現代的リズムのダンス(アップテンポの曲に合わせてのびのびと動く)	授業で行ったダンス動作を一日20分、練習する(20分×6回)	
4	現代的リズムのダンス(表現力を高めるためのアイソレーション・基本ステップの習得)	ストレッチを一日20分行う(20分×6回)	
5	現代的リズムのダンス(課題ダンス習得と表現理解)	授業で行ったダンス動作を一日20分、練習する(20分×6回)	
6	現代的リズムのダンス実技技能テストに向けた練習	実技試験で行う課題ダンスの練習を行う	
7	ダンス実技試験	実技試験を実施後の自己フィードバックをレポートする。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
8	創作ダンス(即興的に動きを創る)	課題に対する動きを創ってくる	
9	創作ダンス発表(グループ発表)	他者に対するフィードバックを書いてくる	
10	フォークダンス	世界のフォークダンス・日本の伝承された踊りについて事前に調べてくる	
11	グループ発表	授業後の自己フィードバックを行う	
12	エアロビックダンス体験 動きの習得	エアロビックダンスの動きを一日20分、練習しておく(20分×6回)	
13	エアロビックダンス指導法	エアロビックダンスの指導理論をまとめる。	
14	エアロビックダンス指導ドリル	既定の動きと指導法を練習してくる	
15	エアロビックダンス指導実技テスト	ダンスやエアロビックダンスを行うことでの意義について考えをまとめておく	

基本情報

科目名	陸上競技
時間割コード	0440303901
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	國木 孝治
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（総合）

担当教員情報

教員名
國木 孝治

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>【授業の目的】 本授業では、陸上競技の実技を通して各種目の基礎知識・技能を習得することを目的に、グループワークやプレゼンテーションを適宜行い、中高保健体育教師、及び健康運動指導士（健康運動実践指導者）、並びにアスレチックトレーナー（コーチングアシスタント）資格に必要な知識や指導法について学んでいく。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技の歴史や各種の特性について理解することができる。 ・陸上競技を安全に実施するための基礎的知識・技能を獲得することができる。 ・陸上競技を実施するためのフィールドや用具について、準備・設置、及びメンテナンスの知識を獲得することができる。 ・健康運動指導（ジョギング・ウォーキング）をするための基礎的知識・技能を獲得することができる。 ・陸上競技、及び健康運動指導の基礎的指導を行うことができる。 <p>【ディプロマポリシーとの関連】 （全学DP）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力を養う。 ・基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探索し問題を解決できる能力を養う。 <p>（学科DP）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間を身体的・精神的・社会的存在として統合的に理解することができる。 ・科学的根拠に基づいた論理的思考と科学的に実践する方法論を身につけている。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・中・高教職履修者（保健体育）：必修科目。 ・健康運動指導士・健康運動実践指導者：必修科目。 ・本科目の特性上、授業内容ならびに学生に求める主体性・技能レベルは教員免許（保健体育）取得予定者向けに設定する。教員免許（中・高等学校：保健体育）を取得する予定のない者が履修する場合には、以下2点に注意すること。 1) 授業内容は試合形式主体ではなく、各種目の基本技能修得が主体となること。 2) 1) を通じて、陸上競技各種目の効果的・効率的な指導法と指導技術の修得を目指すこと。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・参加意欲・態度：20/100 ・知識：20/100（レポート評価） ・技能：60/100 実技試験：30/100 模擬指導：30/100
テキスト	・特に必要としない（必要な場合は適宜配布）
参考文献	<ol style="list-style-type: none"> 1) 日本陸上競技連盟編（2017）キッズの陸上競技，大修館書店。 2) 日本陸上競技連盟編（2015）基礎から身につく陸上競技，大修館書店。 3) 日本陸上競技連盟編（2021）陸上競技ルールブック（2021年度版），ベースボールマガジン社。 4) 小室史恵・杉山ちなみ監訳（2002）ストレッチング，有限会社ナッパ。 5) トル・ゴダス著：楡井浩一訳（2011）なぜ人は走るのか：ランニングの人類史，筑摩書房 6) 三浦望慶編（2015）ノルディック ウォーキング：効果的な健康運動，アイオーエム。 7) 能勢博（2019）ウォーキングの科学，講談社。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校及び高等学校勤務経験 ・日本陸上競技連盟：ジュニアコーチ ・日本スポーツ協会：陸上競技コーチ

授業計画

授業計画

雨天の場合には屋内にて実施するため、授業内容が前後する場合がある。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	授業ガイダンス	（事前） シラバスを確認し、授業全体の流れを理解しておくこと。（1時間）	授業の方法、到達目標、学習法について説明する。
2	ジョギング・ウォーキング(1) ・ウォーキング	ウォーミングアップとクーリングダウン ストレッチング ウォーキング実技 ・ウォーキングの特性 ・ウォーキングの実際 ・ウォーキング実施における安全 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（1時間）	グループワーク ディスカッション 実技
3	ジョギング・ウォーキング(2) ・ジョギング	ウォーミングアップとクーリングダウン ストレッチング ジョギング実技 ・ジョギングの特性 ・ジョギングの実際 ・ジョギング実施における安全 について （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（1時間）	グループワーク ディスカッション 実技
4	トラック競技のルール ・短距離走 ・中長距離走	トラックの構造 トラック競技のルール （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（1時間）	
5	短距離走	クラウチングスタート・スタンディングスタート スターティングブロックの使用法 ストップウォッチを用いた計測法 短距離走の指導法 記録の測定 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（1時間）	グループワーク ディスカッション 実技
6	ハードル走	用具とルールの把握 リード脚・抜き足・踏切・クリアランス・着地の動作 ハードル走の指導法 記録の測定 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（1時間）	グループワーク ディスカッション 実技
7	リレー	リレーのルール オーバーハンドパス・アンダーハンドパス テイクオーバーゾーンの有効的な活用 リレーの指導法 記録の測定 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（1時間）	グループワーク ディスカッション 実技
8	フィールド競技のルール ・跳躍 ・投擲	跳躍競技のルール 投擲競技のルール （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（1時間）	

授業計画

雨天の場合には屋内にて実施するため、授業内容が前後する場合がある。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	走り幅跳び 三段跳び	走り幅跳び・三段跳びのルール 踏切の仕方 助走の取り方 走り幅跳びの指導法 記録の測定 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（1時間）	グループワーク ディスカッション 実技
10	走り高跳び	走り高跳びのルール 跳躍法 踏切の仕方 助走の取り方 リレーの指導法 記録の測定 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（1時間）	グループワーク ディスカッション 実技
11	砲丸投げ ハンマー投げ	砲丸投げ・ハンマー投げのルール 投法 投法の指導 記録の測定 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（1時間）	グループワーク ディスカッション 実技
12	円盤投げ やり投げ	円盤投げ・やり投げのルール 投法 投法の指導 記録の測定 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（1時間）	グループワーク ディスカッション 実技
13	持久走 : 基礎	様々な条件を設定しながら楽しく取り組める持久走のあり方 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（1時間）	グループワーク ディスカッション 実技
14	持久走 : 教授法	グループごとに考案した持久走の教授法についての発表と実践 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（1時間）	グループワーク ディスカッション 実技
15	まとめ	（事前） これまで学んできた内容について、忘れてしまったこと等を振り返る。（1時間）	これまでの授業内容、及び陸上競技の各種目やルールについて、振り返りを行う

基本情報

科目名	体操
時間割コード	0440304001
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	藤崎 道子
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（総合）

担当教員情報

教員名
藤崎 道子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>本授業では心と体をほぐしたり、体力を高めるための運動の行い方を理解することをねらいとする。</p> <p>本授業で学修者は 体の基本的な動きを説明することができるようになる。 目的に応じた運動の行い方を理解し、動き方を創意工夫することができるようになる。 仲間と協力し楽しくかつ安全に運動を行うことの大切さを説明することができるようになる。</p> <p>器械体操分野としてマット運動の基本的な動作ができるようになる。</p>
履修上の注意事項	<p>実技中心ではあるが、毎時間必ず筆記用具を持参すること。 毎時間の行った実技の内容を必ずまとめる（復習） ラジオ体操の歴史について事前に調べておくこと（予習） 毎時間の予習・復習を合わせて120分おこなうこと。</p>
評価方法	実技試験30%（マット運動）、グループ発表（体づくり運動プログラム作成）30%、レポート10%、学習態度30%、
テキスト	中学校学習指導要項解説 保健体育編（文部科学省）
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価の方法、現代の健康問題を知る、その他諸注意）	子供たちの健康問題について調べてくる	
2	学校体育における「体づくり運動」の位置づけと狙い	授業で学んだことをノートに書きだす	
3	体ほぐし運動実習 体を動かす楽しさを伝えるプログラムとは～	実際に行った実技についてまとめ、動作分析を行う	
4	体ほぐし運動実習 体の調子を整える運動とは～	ストレッチングの効果・ヨガの効果について調べておく	
5	体ほぐし運動実習と演習 心とからだの相関性について理解を深める	心とからだの心身相関について調べておく	
6	ラジオ体操の実践と指導 しい動き方をマスターする	正 ラジオ体操の歴史や背景について調べておく	
7	ラジオ体操の実践と指導 ラジオ体操を指導する	ラ ラジオ体操第1・2、みんなの体操の動きを覚えてくる	
8	器械体操（マット運動）	ストレッチングを毎日行う	
9	器械体操（マット運動）	ストレッチングを毎日行う	
10	マット運動実技試験	ストレッチングを毎日行う	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	体の動きを高める運動 ～持続する能力を高めよう～エアロビック ダンスを楽しむ～	エアロビックダンスについて調べておく	
12	体の動きを高める運動 筋力を高めよう～正しいトレーニング の方法～	自重負荷でのトレーニングを毎日行う	
13	体の動きを高める運動 ～調整力を高め る運動とは～	調整力を高める運動にはどのようなもの があるか調べてくる	
14	運動実施計画を作る グループワーク	グループで考えた計画を計画書としてま とめてくる	
15	グループ発表	自己フィードバック書いてくる	

基本情報

科目名	球技
時間割コード	0440304101
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	手嶋 智子
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(総合)

担当教員情報

教員名
平崎 和雄、手嶋 智子、國木 孝治

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>【目的】 本授業は、ゴール型、ネット型、ベースボール型...の3つの領域で構成し、型の種目特性(歴史、ルール、運動方法)を理解したうえで、基本的な動作・守備側・攻撃側の技術を習得すること、及び、それらの技術や戦略を指導できるようになることを目的としている。</p> <p>【到達目標】 ・個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗することに楽しさや喜びを味わうことができる。 ・各種球技種目への理解を深め、指導法など運動指導者に必要な知識を身につけることができる。 ・対象者の年齢・体力・技能レベルなどの個人差を考慮した、安全で効果的な球技種目の指導法を習得することができる。 ・対象者の状況に応じた指導を計画的に実施するための能力を身につけることができる。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】 (全学DP)「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力を養う。 (学科DP)人間を身体的・精神的・社会的存在として統合的に理解することができる。</p>
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校・高等学校保健体育教諭免許状取得希望者：必修 ・アスレティックトレーナー取得希望者：受講推奨 ・本科目の特性上、授業内容ならびに学生に求める主体性・技能レベルは教員免許(保健体育)取得予定者向けに設定する。教員免許(中・高等学校：保健体育)を取得する予定のない者が履修する場合には、以下2点に注意すること。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業内容は試合形式主体ではなく、各種目の基本技能修得が主体となること。 2) 1)を通じて、球技種目の効果的・効率的な指導法と指導技術の修得を目指すこと。 ・実技科目を受講するうえでの基本的事項(マナー)として、装飾品(ピアスやネックレス等)は外し、長髪の場合は髪をまとめ、運動に適した服装で受講すること。
評価方法	1) 受講態度・意欲(技能、学びに向かう力)、2) 提出物(知識、思考力)、3) 指導法(技能、判断力・表現力)...等を総合的に判断し、評価する。
テキスト	なし 必要なプリントを適宜配布することがあります。
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴木直樹(2022)「ゲーム・ボール運動・球技」授業づくりマスターガイド：小・中・高等学校における「ゲーム中心の指導アプローチ」, 明治図書出版. ・日本コーチング学会編(2019)球技のコーチング, 大修館書店. ・松井良明(2015)球技の誕生：人はなぜスポーツをするのか, 平凡社.
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>手嶋智子：球技団体トレーナー経験</p> <p>平崎和雄：球技団体トレーナー経験</p> <p>國木孝治：中学校及び高等学校勤務経験</p>

授業計画

授業計画

本授業は、ゴール型、ネット型、ベースボール型...の3つの領域で構成し、取り扱う種目は次のとおり。

実施種目及び実施内容については、履修者状況や実施会場の状況に応じ選択・対応する。

ゴール型：サッカー（フットサルを含む）、バスケットボール（3×3を含む）、ラグビー（タグラグビーを含む）、ハンドボール、その他（アダプテッド・スポーツ等）

ネット型：バレーボール（ソフトバレーを含む）、バドミントン、卓球、テニス、その他（アダプテッド・スポーツ等）

ベースボール型：ソフトボール、その他（アダプテッド・スポーツ等）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション（手嶋） ネット型球技（手嶋） ・歴史、基本的ルールやゲームの進行	【事後学習】 授業に必要な用具の準備	
2	ネット型球技（手嶋） ・サブ・レシーブ・パス、アタック（スマッシュ）・ブロック（ボレー）	【事後学習】 授業の内容を振り返り、授業で取り扱ったネット型球技種目の特性、必要な技能、その種目を指導する上で配慮すべき事項について個人ノートにまとめる。 【事前学習】 次回の授業に向けて、自身の課題（改善したいところ、特に注力したいところ等）を明確にしておく。	グループワーク 実習
3	ネット型球技（手嶋） ・ゲーム中の守備側・攻撃側の作戦	【事後学習】 授業の内容を振り返り、授業で取り扱ったネット型球技種目の特性、必要な技能、その種目を指導する上で配慮すべき事項について個人ノートにまとめる。 【事前学習】 次回の授業に向けて、自身の課題（改善したいところ、特に注力したいところ等）を明確にしておく。	グループワーク 実習
4	ネット型球技（手嶋） ・練習方法（個人練習・集団練習）	【事後学習】 授業の内容を振り返り、授業で取り扱ったネット型球技種目の特性、必要な技能、その種目を指導する上で配慮すべき事項について個人ノートにまとめる。 【事前学習】 次回の授業に向けて、自身の課題（改善したいところ、特に注力したいところ等）を明確にしておく。	グループワーク 実習
5	ネット型球技（手嶋） ・ゲーム攻防の習熟度別教育法	【事後学習】 授業の内容を振り返り、授業で取り扱ったネット型球技種目の特性、必要な技能、その種目を指導する上で配慮すべき事項について個人ノートにまとめる。 【事前学習】 次回の授業に向けて、自身の課題（改善したいところ、特に注力したいところ等）を明確にしておく。	グループワーク 実習
6	ベースボール型球技（平崎） 歴史、基本的ルールやゲームの進行	【事後学習】 授業の内容を振り返り、授業で取り扱ったベースボール型球技種目の特性、必要な技能、その種目を指導する上で配慮すべき事項について個人ノートにまとめる。 【事前学習】 次回の授業に向けて、自身の課題（改善したいところ、特に注力したいところ等）を明確にしておく。	グループワーク 実習

授業計画

本授業は、ゴール型、ネット型、ベースボール型...の3つの領域で構成し、取り扱う種目は次のとおり。

実施種目及び実施内容については、履修者状況や実施会場の状況に応じ選択・対応する。

ゴール型：サッカー（フットサルを含む）、バスケットボール（3×3を含む）、ラグビー（タグラグビーを含む）、ハンドボール、その他（アダプテッド・スポーツ等）

ネット型：バレーボール（ソフトバレーを含む）、バドミントン、卓球、テニス、その他（アダプテッド・スポーツ等）

ベースボール型：ソフトボール、その他（アダプテッド・スポーツ等）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	ベースボール型球技（平崎） ボールチャッチ・ボール投げ、打撃・バント	【事後学習】 授業の内容を振り返り、授業で取り扱ったベースボール型球技種目の特性、必要な技能、その種目を指導する上で配慮すべき事項について個人ノートにまとめる。 【事前学習】 次回の授業に向けて、自身の課題（改善したいところ、特に注力したいところ等）を明確にしておく。	グループワーク 実習
8	ベースボール型球技（平崎） ・ゲーム中の守備側・攻撃側の作戦	【事後学習】 授業の内容を振り返り、授業で取り扱ったベースボール型球技種目の特性、必要な技能、その種目を指導する上で配慮すべき事項について個人ノートにまとめる。 【事前学習】 次回の授業に向けて、自身の課題（改善したいところ、特に注力したいところ等）を明確にしておく。	グループワーク 実習
9	ベースボール型球技（平崎） ・練習方法（個人練習・集団練習）	【事後学習】 授業の内容を振り返り、授業で取り扱ったベースボール型球技種目の特性、必要な技能、その種目を指導する上で配慮すべき事項について個人ノートにまとめる。 【事前学習】 次回の授業に向けて、自身の課題（改善したいところ、特に注力したいところ等）を明確にしておく。	グループワーク 実習
10	ベースボール型球技（平崎） ・ゲーム攻防の習熟度別教育法	【事後学習】 授業の内容を振り返り、授業で取り扱ったベースボール型球技種目の特性、必要な技能、その種目を指導する上で配慮すべき事項について個人ノートにまとめる。 【事前学習】 次回の授業に向けて、自身の課題（改善したいところ、特に注力したいところ等）を明確にしておく。	グループワーク 実習
11	ゴール型球技（國木） ・歴史、基本的ルールやゲームの進行	【事後学習】 授業の内容を振り返り、授業で取り扱ったゴール型球技種目の特性、必要な技能、その種目を指導する上で配慮すべき事項について個人ノートにまとめる。 【事前学習】 次回の授業に向けて、自身の課題（改善したいところ、特に注力したいところ等）を明確にしておく。	グループワーク 実習
12	ゴール型球技（國木） ・ボールキャッチ・パス（キック）・デフェンス等	【事後学習】 授業の内容を振り返り、授業で取り扱ったゴール型球技種目の特性、必要な技能、その種目を指導する上で配慮すべき事項について個人ノートにまとめる。 【事前学習】 次回の授業に向けて、自身の課題（改善したいところ、特に注力したいところ等）を明確にしておく。	グループワーク 実習

授業計画

本授業は、ゴール型、ネット型、ベースボール型...の3つの領域で構成し、取り扱う種目は次のとおり。

実施種目及び実施内容については、履修者状況や実施会場の状況に応じ選択・対応する。

ゴール型：サッカー（フットサルを含む）、バスケットボール（3×3を含む）、ラグビー（タグラグビーを含む）、ハンドボール、その他（アダプテッド・スポーツ等）

ネット型：バレーボール（ソフトバレーを含む）、バドミントン、卓球、テニス、その他（アダプテッド・スポーツ等）

ベースボール型：ソフトボール、その他（アダプテッド・スポーツ等）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	ゴール型球技（國木） ・ゲーム中の守備側・攻撃側の作戦	【事後学習】 授業の内容を振り返り、授業で取り扱ったゴール型球技種目の特性、必要な技能、その種目を指導する上で配慮すべき事項について個人ノートにまとめる。 【事前学習】 次回の授業に向けて、自身の課題（改善したいところ、特に注力したいところ等）を明確にしておく。	グループワーク 実習
14	ゴール型球技（國木） ・練習方法（個人練習・集団練習）	【事後学習】 授業の内容を振り返り、授業で取り扱ったゴール型球技種目の特性、必要な技能、その種目を指導する上で配慮すべき事項について個人ノートにまとめる。 【事前学習】 次回の授業に向けて、自身の課題（改善したいところ、特に注力したいところ等）を明確にしておく。	グループワーク 実習
15	ゴール型球技（國木） ・ゲーム攻防の習熟度別教育法 受業総括（手嶋）	【事後学習】 授業の内容を振り返り、授業で取り扱ったゴール型球技種目の特性、必要な技能、その種目を指導する上で配慮すべき事項について個人ノートにまとめる。	グループワーク 実習

基本情報

科目名	野外活動
時間割コード	0440304201
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	國木 孝治
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（総合）

担当教員情報

教員名
平崎 和雄、井手 裕子、手嶋 智子、國木 孝治

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>本授業は アクアスポーツ実習と キャンプ実習の2実習で構成する。</p> <p>【授業の目的】 〔アクアスポーツ実習〕 1) 大自然の中で基礎的な知識や技術を学習し、生涯にわたり年齢・体力に応じた野外活動（アクアスポーツ）の楽しみ方を養う。 2) 幼・小・中・高等教育における自然体験活動（アクアスポーツ）の指導知識・技能を修得する。 3) アクアスポーツに関する安全教育や水泳管理、集団生活の実践的態度を体得する。 4) 自然や野外での活動のあり方を体験的に学び、時代に即した知識と技能を獲得する。</p> <p>〔キャンプ実習〕 1) 大自然の中で基礎的な知識や技術を学習し、生涯にわたり年齢・体力に応じた野外活動（キャンピング）の楽しみ方を養う。 2) 幼・小・中・高等教育における自然体験活動（キャンピング）の指導知識・技能を修得する。 3) 自然や野外での活動のあり方を体験的に学び、時代に即した知識と技能を獲得する。 4) キャンピングや野外炊飯に関する安全管理、集団生活の実践的態度を体得する。</p> <p>【到達目標】 1) 自然の中で行われる活動の計画方法や健康管理を理解し、実習を安全に実施することができる。 2) 自然体験活動の基礎的な知識や技術を学習し、生涯にわたり年齢・体力に応じた野外活動の楽しみ方を養うことができる。 3) マナーや協調性などの社会的スキルを身につけることができる。 4) 年齢・体力に応じた指導方法を身に付けることができる。 5) 応急処置法や救助法に関する知識・技術が習得できる。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】 （全学DP） ・「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力を養う。 ・基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探索し問題を解決できる能力を養う。 （学科DP） ・人間を身体的・精神的・社会的存在として統合的に理解することができる。 ・科学的根拠に基づいた論理的思考と科学的に実践する方法論を身につけている。</p>
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、足の届かない海域を活用しての実習を主体としているため、「水泳」（1年次1学期開講）を履修済みのうえ、履修することが望ましい。 ・中学校および高等学校保健体育免許取得要件科目 ・実習は校外（青少年の家）を利用しての、3泊4日で実施する宿泊を伴う実習のため、別途費用（旅費・交通費用、器材レンタル費用等）がかかる。 ・第1回目の授業は、(1)4～6月に、(2)履修者の他授業の空き時間に、履修者ガイダンス（履修者確認及び費用等の説明）を行うので、定期的にCampus Squareを確認し、当日の欠席が無いように注意すること。 ・実習に必要なもの（ウェア等）については履修者ガイダンス時にアナウンスするので、実習当日までに各自準備しておくこと。
評価方法	1) 授業に取り組む姿勢（学びに向かう力・人間性） 2) 野外活動に関する基礎的理解（知識・技能） 3) 野外活動に関する実践力（思考力・判断力・表現力） …等を踏まえて総合的に判断・評価する。
テキスト	必要無し（適宜資料を配布する）。

詳細情報

参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験活動研究会編（2011）野外教育の理論と実践，杏林書院． ・自然体験活動研究会編（2011）野外教育における安全管理と安全学習，杏林書院． ・自然体験活動研究会編（2012）水辺の野外教育，杏林書院． ・自然体験活動研究会編（2012）障がいのある子どもの野外教育，杏林書院． ・自然体験活動研究会編（2014）冒険教育の理論と実践，杏林書院． ・日本海洋少年団連盟（2015）海の訓練ワークブック，成山堂書店． ・東正樹（2008）いちばんやさしいレクリエーションゲーム全集，成美堂出版． ・日本野外教育研究会編（1999）キャンプテキスト（改訂版），杏林書院． ・羽根田治（2019）基本のロープワーク，山と溪谷社． ・水野隆信（2019）ロープワーク，山と溪谷社． ・日本ライフセービング協会編（2019）ウォーターセーフティ教本，大修館書店． ・日本ライフセービング協会編（2018）サーフライフセービング教本（JRC蘇生ガイドライン2015準拠），大修館書店．
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>國木孝治：中学校及び高等学校勤務経験、日本ライフセービング協会認定ライフセービング指導員、日本水泳連盟認定基礎水泳指導員、日本スポーツ協会コーチ（水泳）、日本キャンプ協会認定キャンプ指導員。</p> <p>平崎和雄：中学校及び高等学校スポーツトレーナー実務経験</p> <p>井手裕子：中学校及び高等学校スポーツトレーナー実務経験</p> <p>手嶋智子：中学校及び高等学校スポーツトレーナー実務経験</p>

授業計画

授業計画	
授業1回目は授業ガイダンスを実施し、実習概要について案内する。	
2回目以降は本実習の内容で、校外施設（青少年自然の家）にて アクアスポーツ実習、及び キャンプ実習を3泊4日で行う。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	授業ガイダンス	（事前） シラバスを確認しておくこと（1時間） （事後） 実習日程と他行事との調整、学習が必要と思われる知識・技能の確認等（1時間）	・授業ガイダンスの開催日時については CampusSquare で案内する。 ・ガイダンスでは、実習日程、実習地、実習費用のほか、授業の方法、到達目標、学習法について説明するので必ず出席のこと。
2	ウォーターセーフティ ・パディシステム	（事後） 習得した知識・技能の振り返り（～1時間）	グループワーク 実習
3	ウォーターセーフティ ・PFD	（事後） 習得した知識・技能の振り返り（～1時間）	グループワーク 実習
4	ウォーターセーフティ ・サバイバルテクニク	（事後） 習得した知識・技能の振り返り（～1時間）	グループワーク 実習
5	アクアスポーツ体験 ・パドル個人スポーツ（SUPほか）	（事後） 習得した知識・技能の振り返り（～1時間）	グループワーク 実習
6	アクアスポーツ体験 ・パドル個人スポーツ（シーカヤックほか）	（事後） 習得した知識・技能の振り返り（～1時間）	グループワーク 実習
7	アクアスポーツ体験 ・パドル集団スポーツ（ペーロンほか）	（事後） 習得した知識・技能の振り返り（～1時間）	グループワーク 実習
8	溺者救助法 ・レスキューボードを使用した溺者救助法	（事後） 習得した知識・技能の振り返り（～1時間）	グループワーク 実習
9	溺者救助法 ・レスキューチューブを使用した溺者救助法	（事後） 習得した知識・技能の振り返り（～1時間）	グループワーク 実習
10	溺者救助法 ・ストレッチャーを使用した要救助者の運搬法	（事後） 習得した知識・技能の振り返り（～1時間）	グループワーク 実習

授業計画

授業1回目は授業ガイダンスを実施し、実習概要について案内する。

2回目以降は本実習の内容で、校外施設（青少年自然の家）にて アクアスポーツ実習、及び キャンプ実習を3泊4日で行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	溺者救助法 ・溺者救助からの救命法（心肺蘇生法）	（事後） 習得した知識・技能の振り返り（～1時間）	グループワーク 実習
12	キャンピング ・ロープワークテクニック	（事後） 習得した知識・技能の振り返り（～1時間）	グループワーク 実習
13	キャンピング ・テントの設営法	（事後） 習得した知識・技能の振り返り（～1時間）	グループワーク 実習
14	キャンピング ・バーナー・クッカーの使用法 ・ブッシュクラフト	（事後） 習得した知識・技能の振り返り（～1時間）	グループワーク 実習
15	キャンピング ・野外炊飯	（事後） 習得した知識・技能の振り返り（～1時間）	グループワーク 実習
16	キャンピング ・キャンプファイヤーの方法 ・野外レクリエーションの方法	（事後） 習得した知識・技能の振り返り（～1時間）	グループワーク 実習
17	キャンピング ・テント泊	（事後） 習得した知識・技能の振り返り（～1時間）	グループワーク 実習
18	まとめ：実習レポート	（事前） 実習レポートの作成（2時間）	
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

基本情報

科目名	体育原理
時間割コード	0440452301
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	國木 孝治
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
國木 孝治

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎から積み上げた体系的な教養を身につけたうえで、幅広い教養と高い倫理観・責任感を備え、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探求し問題を解決できる能力を身につけること。 ・文化現象としての体育・スポーツにおける問題を哲学的方法を用いて省察する。 ・体育・スポーツの概念、スポーツとコミュニケーション、遊戯論とスポーツ、ナショナリズム、政治とスポーツ等に焦点をあて、個人、集団をとりまく体育・スポーツ現象に対する学問的アプローチの方法を学ぶことにより、新しい学際的知見を積極的に取り入れる能力、社会的役割の変化へ対応できる自己研鑽力を身につけること。 ・身体的・精神的・社会的存在としての体育・スポーツを理解することを目的とする。 <p>【到達度目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育とスポーツに関する理論を学習し、理解を深め、思考力を養うことができる。 ・論理的思考を身につけることができる。 ・専門用語を用いて、自分なりの考えを表明することができる。 <p>【ディプロマポリシーとの関連】 (全学DP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力を養う。 ・基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探求し問題を解決できる能力を養う。 <p>(学科DP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間を身体的・精神的・社会的存在として統合的に理解することができる。 ・科学的根拠に基づいた論理的思考と科学的に実践する方法論を身につけている。
履修上の注意事項	<p>物事の原理・原則等に係る分野であるため、思考のプロセスが重要である。 授業前に講義テーマに関する文献を読んで授業に取り組み、授業後は獲得した知識と自分なりの思考で問いを発して復習に取り組むこと。</p>
評価方法	<p>【評価基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に取り組む姿勢：10% ・授業内課題（発表、レポート等）：20% ・定期試験：70% <p>なお、レポート、小テスト等により、前回の授業を振り返るためのフィードバックを授業内に行う。</p>
テキスト	特に指定しない。
参考文献	<p>本授業用に開発した独自のテキストを配布するが、以下の図書を参考に予習・復習を行うと良い。</p> <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友添秀則・岡田美則著『教養としての体育原理（新版）』大週刊書店，2016。 ・佐藤臣彦著『身体教育を哲学する』北樹出版，2013。 ・体育原理専門分科会編『体育原理 運動の概念』不昧堂出版，1984。 ・近藤良享著『スポーツ倫理』不昧堂出版，2012。 ・J・ホイジンガ著（高橋英夫訳）『ホモ・ルーデンス』中央公論社，1993。 ・R・カイヨワ著（多田・塚崎訳）『遊びと人間』講談社，1995。 ・川谷茂樹著『スポーツ倫理学』ナカニシヤ出版，2013。 ・H・レールス著『遊戯とスポーツ』玉川大学出版部，1987。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	中学校及び高等学校勤務経験、及びスポーツ施設（スタジアム）管理運営経験

授業計画

授業計画

本授業では、身体、体育、スポーツに関する哲学的アプローチについて理解することを目的とする。これまでの研究成果の一覧を理解することに留まらず、身体、体育、スポーツについての歴史的な理解を踏まえて現在の問題（これからの体育における学び、部活動問題、スポーツ指導者のあり方、スポーツにおける倫理）について意見を持つことを目的とする。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	授業ガイダンス 本講義の目的、内容・評価等の説明、ほか	（事前） シラバスを読んで授業概要について理解しておく（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間）	
2	体育原理とは何か 1．なぜ体育原理を学ぶのか 2．体育原理はどのような学問か	1．なぜ体育原理を学ぶのか 2．体育原理はどのような学問か （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間）	
3	体育・スポーツ理念の変遷 1．体育理念の変遷 2．体育とスポーツは何が違うのか	1．体育理念の変遷 2．体育とスポーツは何が違うのか 3．運動のもつ可能性 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間）	ディスカッション・ディベート グループワーク
4	体育・スポーツにおける人間形成 1．体育における人間形成 2．体育とフェアプレイ：フェアプレイ	1．体育における人間形成 2．体育とフェアプレイ：フェアプレイは有効か について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間）	ディスカッション・ディベート グループワーク
5	体育・スポーツと身体形成 1．身体形成とは何か 2．身体からみた体育の可能性	1．身体形成とは何か 2．身体からみた体育の可能性 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間）	ディスカッション・ディベート グループワーク
6	プレイが生み出す体育の可能性 1．プレイ論 2．体育で競争をどのように位置づけるか	1．プレイ論 2．体育で競争をどのように位置づけるか について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間）	ディスカッション・ディベート グループワーク
7	技術指導からみた体育・スポーツ 1．技術指導からみた体育 2．体育と指導者、体育教師とコーチ	1．技術指導からみた体育 2．体育と指導者：体育教師とコーチ、何が違うのか 3．運動部活動の意義と課題 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間）	ディスカッション・ディベート グループワーク

授業計画

本授業では、身体、体育、スポーツに関する哲学的アプローチについて理解することを目的とする。これまでの研究成果の一覧を理解することに留まらず、身体、体育、スポーツについての歴史的な理解を踏まえて現在の問題（これからの体育における学び、部活動問題、スポーツ指導者のあり方、スポーツにおける倫理）について意見を持つことを目的とする。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	子どもからみた体育の存在意義 1．なぜ子どもに体育は必要なのか 2．社会変化と今後の体育	1．なぜ子どもに体育は必要なのか 2．社会変化と今後の体育 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間）	ディスカッション・ディベート グループワーク
9	スポーツ文化論・スポーツ社会学	・近代スポーツの成立と発展 ・メディア化するスポーツ ・消費文化としてのスポーツ ・スポーツと政治・権力 ・スポーツとジェンダー ・スポーツと教育 ・スポーツと地域社会 等について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間）	ディスカッション・ディベート グループワーク
10	遊戯論（1） ホイジンガ『ホモ・ルーデンス』	ホイジンガ『ホモ・ルーデンス』について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間）	ディスカッション・ディベート グループワーク
11	遊戯論（2） カイヨワの遊戯論『遊びと人間』	カイヨワの遊戯論『遊びと人間』について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間）	ディスカッション・ディベート グループワーク
12	遊戯論（3） H・レールス『遊戯とスポーツ』	H・レールス『遊戯とスポーツ』について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間）	ディスカッション・ディベート グループワーク
13	スポーツと思想（1） ・オリンピック ・ナショナリズム	オリンピックやナショナリズムについて、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間）	ディスカッション・ディベート グループワーク
14	スポーツと思想（2） ・アマチュアリズム ・スポーツの政治的中立性	アマチュアリズム、スポーツの政治的中立性について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間）	ディスカッション・ディベート グループワーク

授業計画

本授業では、身体、体育、スポーツに関する哲学的アプローチについて理解することを目的とする。これまでの研究成果の一覧を理解することに留まらず、身体、体育、スポーツについての歴史的な理解を踏まえて現在の問題（これからの体育における学び、部活動問題、スポーツ指導者のあり方、スポーツにおける倫理）について意見を持つことを目的とする。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	講義全体のまとめ スポーツ、体育、身体 の思想	（事前） これまでの授業について、忘れてしまったこと等についてリフレクションする（2時間） （事後） ノートを整理し、講義内容を再確認しながらレポート課題に取り組む（2時間）	

基本情報

科目名	スポーツ心理学
時間割コード	0440110401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	藤原 大樹
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
藤原 大樹

詳細情報

授業の目的・到達目標	運動・スポーツ現場で働く人間にとって、運動・スポーツ場面における人間行動の理解は必須である。この授業の目的は、運動・スポーツ行動の心理的メカニズムについて理解を深めることである。学修者は運動・スポーツに関連する心理学の基礎理論と現場での応用事例について説明できるようになる。
履修上の注意事項	
評価方法	試験50% 運動実践レポート10% 小レポート20% 小テスト20%
テキスト	なし
参考文献	よくわかるスポーツ心理学：中込四郎・伊藤豊彦・山本祐二（2012）ミネルヴァ書房 スポーツ心理学事典：日本スポーツ心理学会編（2008）大修館書店
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習：各回の講義におけるキーワードについて予習しておくこと（60分） 復習：各回の講義において提示されるテーマについて講義レポートを作成し、理解度テストを受けること（60分）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション・運動・スポーツ心理学とは	講義レポート、理解度テスト	
2	運動・スポーツとパーソナリティ：競技者のパーソナリティ	講義レポート、理解度テスト	
3	スポーツと動機づけ：競技動機、達成動機、原因帰属、目標設定	講義レポート、理解度テスト	
4	運動・スポーツスキルの獲得：運動学習理論、技能評価・フィードバック	講義レポート、理解度テスト	
5	スポーツ集団における集団力学：集団課程、凝集性、チームビルディング	講義レポート、理解度テスト	
6	リーダーシップ：PM理論、フォロワーシップ	講義レポート、理解度テスト	
7	スポーツキャリア：参加・継続・離脱・バーンアウト	講義レポート、理解度テスト	
8	メンタルトレーニング：MTとは、基本的なスキルの紹介	講義レポート、理解度テスト	
9	スポーツ傷害と心理的サポート：スポーツ傷害、ストレス、リハビリテーション	講義レポート、理解度テスト	
10	スポーツと攻撃性：暴力行為、逸脱行為、観客の暴動	講義レポート、理解度テスト	
11	運動・スポーツの心理的効果：QOL、自己概念、ストレスマネジメント	講義レポート、理解度テスト	
12	運動実習：ストレス測定とレポート作成	運動実習レポートの作成	

授業計画

予習：各回の講義におけるキーワードについて予習しておくこと（60分）

復習：各回の講義において提示されるテーマについて講義レポートを作成し、理解度テストを受けること（60分）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	身体活動プロモーション：運動行動の決定因、介入モデル	講義レポート、理解度テスト	
14	身体活動プロモーション：行動変容理論	講義レポート、理解度テスト	
15	授業のまとめ	期末テストの準備	

基本情報

科目名	スポーツ経営学
時間割コード	0440305201
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	松村 勇治
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(総合)

担当教員情報

教員名	
松村 勇治	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>【目的】本授業では、学修者がスポーツ経営学の学問領域における知を基軸としスポーツに関する組織や制度を理解することで、スポーツ組織の力を高めスポーツの環境整備に必要な対策を創造できる能力を養うことを目的とする。</p> <p>【到達目標】1) スポーツ経営学の理論体系を説明できる 2) 自身の興味関心のある個別スポーツ組織におけるマネジメント方策を説明できる。 3) グループワークにおいて学習した知識を用いて議論・プレゼンができる。</p>
履修上の注意事項	授業前は、教科書等の関連単語等についてインターネット等で意味の予習をすること。毎回、学んだことについてレポートを提出をお願いします。
評価方法	<p>2/3以上の出席を必須</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主的学習態度及び出席時学習態度・・・50% ・課題レポート・・・30% ・試験・・・20% <p>以上の総合評価(再試験は実施しない)</p>
テキスト	<p>体育・スポーツ経営学(大修館書店)</p> <p>Reference Book (JSPO:日本スポーツ協会)</p>
参考文献	スポーツ事故対策マニュアル(体育施設出版)
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	熊本市の公設社会体育施設・文化施設等11施設の管理運営を行っている。

授業計画

授業計画	
1. ガイダンス	
2. 安全なスポーツ環境の構築(予防)と問題発生時の対処について説明できる	
3. 「スポーツ宣言日本」におけるスポーツの意義と価値について説明できる	
4. スポーツの定義について説明できる	
5. 行動としてのスポーツについて説明できる	
6. スポーツと健康について説明できる	
7. スポーツ指導者の役割について説明できる	
8. ジュニア期のコーチングの留意点について説明できる	
9. 運動部活動でのコーチングの留意点について説明できる	
10. スポーツ組織の持続可能性について説明できる	
11. 地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」について説明できる	
12. スポーツ少年団の活動分野と内容について説明できる	
13. 日本スポーツ少年団と総合型スポーツクラブとの連携・協議について説明できる	
14. スポーツ組織の特性について説明できる	
15. 障害者スポーツ指導者の育成について説明できる	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス	確認	
2	安全なスポーツ環境の構築(予防)と問題発生時の対処について説明できる	教科書の関連内容の事前学習及び授業の復習をそれぞれ120分行うこと	1時間説明 30分レポート作成
3	「スポーツ宣言日本」におけるスポーツの意義と価値について説明できる	教科書の関連内容の事前学習及び授業の復習をそれぞれ120分行うこと	1時間説明 30分レポート作成

授業計画

1. ガイダンス
2. 安全なスポーツ環境の構築（予防）と問題発生時の対処について説明できる
3. 「スポーツ宣言日本」におけるスポーツの意義と価値について説明できる
4. スポーツの定義について説明できる
5. 行動としてのスポーツについて説明できる
6. スポーツと健康について説明できる
7. スポーツ指導者の役割について説明できる
8. ジュニア期のコーチングの留意点について説明できる
9. 運動部活動でのコーチングの留意点について説明できる
10. スポーツ組織の持続可能性について説明できる
11. 地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」について説明できる
12. スポーツ少年団の活動分野と内容について説明できる
13. 日本スポーツ少年団と総合型スポーツクラブとの連携・協議について説明できる
14. スポーツ組織の特性について説明できる
15. 障害者スポーツ指導者の育成について説明できる

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	スポーツの定義について説明できる	教科書の関連内容の事前学習及び授業の復習をそれぞれ120分行うこと	1時間説明 30分レポート作成
5	行動としてのスポーツについて説明できる	教科書の関連内容の事前学習及び授業の復習をそれぞれ120分行うこと	1時間説明 30分レポート作成
6	スポーツと健康について説明できる	教科書の関連内容の事前学習及び授業の復習をそれぞれ120分行うこと	1時間説明 30分レポート作成
7	スポーツ指導者の役割について説明できる	教科書の関連内容の事前学習及び授業の復習をそれぞれ120分行うこと	1時間説明 30分レポート作成
8	ジュニア期のコーチングの留意点について説明できる	教科書の関連内容の事前学習及び授業の復習をそれぞれ120分行うこと	1時間説明 30分レポート作成
9	運動部活動でのコーチングの留意点について説明できる	教科書の関連内容の事前学習及び授業の復習をそれぞれ120分行うこと	1時間説明 30分レポート作成
10	スポーツ組織の持続可能性について説明できる	教科書の関連内容の事前学習及び授業の復習をそれぞれ120分行うこと	1時間説明 30分レポート作成
11	地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」について説明できる	教科書の関連内容の事前学習及び授業の復習をそれぞれ120分行うこと	1時間説明 30分レポート作成
12	スポーツ少年団の活動分野と内容について説明できる	教科書の関連内容の事前学習及び授業の復習をそれぞれ120分行うこと	1時間説明 30分レポート作成
13	日本スポーツ少年団と総合型スポーツクラブとの連携・協議について説明できる	教科書の関連内容の事前学習及び授業の復習をそれぞれ120分行うこと	1時間説明 30分レポート作成
14	スポーツ組織の特性について説明できる	教科書の関連内容の事前学習及び授業の復習をそれぞれ120分行うこと	1時間説明 30分レポート作成
15	障害者スポーツ指導者の育成について説明できる	教科書の関連内容の事前学習及び授業の復習をそれぞれ120分行うこと	1時間説明 30分レポート作成

基本情報

科目名	学校保健
時間割コード	0440451101
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	火 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
古賀 由紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目の履修を通して、基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探求し問題を解決できる能力を養う。 児童生徒の発育・発達、健康、そして学校教育法につながる指導要領等の教育の基礎を把握するとともに、児童生徒の実態から保健教育、保健管理、組織活動の諸活動等を考える。これら学校保健活動の計画と組織を教育計画と学校組織との関連でとらえ、教育の中の学校保健の全貌を述べることができる。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(事前60分)。授業の復習を行うこと(事後60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後にかかせるが、内容を確認し、次時に返却する。前時の質問に対しては授業の冒頭に答える。
評価方法	試験70% レポート30%により評価する
テキスト	学校保健ハンドブック 第6次改訂 教員養成系大学保健協議会 ぎょうせい
参考文献	新訂版 学校保健実務必携 第一法規
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：公立学校養護教諭経験

授業計画

授業計画
事前(60分)内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後(60分)当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	学校保健概論・学校保健と関連法、学校保健の目的、学校保健の構造	事前(60分)内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後(60分)当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
2	学校保健概論・学校保健の歴史	事前(60分)内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後(60分)当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
3	学校保健組織活動・学校保健関係者と各々の職務、学校保健組織と運営、関連組織	事前(60分)内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後(60分)当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	

授業計画

事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み，分からないところを調べる
 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	学校保健計画・・学校教育目標との関連、保健室経営との関連	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み，分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
5	学校保健の対象・・児童生徒の発育発達 の現状と課題	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み，分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
6	学校保健の対象・・児童生徒の疾病異常、 体力の現状と課題	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み，分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
7	学校保健の対象・・心の健康問題、精神 保健	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み，分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
8	学校保健活動・・保健管理：領域側面、 意義、方法	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み，分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
9	学校保健活動・・保健管理：健康観察、 健康相談	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み，分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
10	学校保健活動・・保健管理：健康診断、 保健調査	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み，分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
11	学校保健活動・・保健管理：感染症予防	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み，分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
12	学校保健活動・・保健管理：学校環境衛 生	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み，分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
13	学校保健活動・・安全管理：学校安全と 危機管理、救急処置	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み，分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	

授業計画

事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み，分からないところを調べる
 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	学校保健活動・・・保健教育：学校における保健教育の考え方	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み，分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
15	学校保健活動・・・性教育、薬物乱用防止教育、食育 がん教育	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み，分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	

基本情報

科目名	精神保健
時間割コード	0440451201
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
水間 宗幸、平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 精神の健康についての基本的考え方と精神保健学の役割について説明できるようになる。 2 精神保健を維持・増進するために機能している専門機関や関係職種との役割と連携について基礎的知識を備える。
履修上の注意事項	予習復習が必要。特に次回に触れる内容について、少なくとも事前にテキストを一読すること。復習時にはキーワードを自分のことばで説明できるようにしておくこと。予習120分、復習120分を目安とする。
評価方法	試験による評価（100%）。なお希望者には個別に評価内容を伝える。
テキスト	最新 精神保健福祉士養成講座2「現代の精神保健の課題と支援」（2021） 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 中央法規
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	水間宗幸：2011年12月より、非常勤心理士として精神科病院で発達障害を持つ子どもとその家族を対象に発達相談を行っている（現在に至る）。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	精神保健の概要（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
2	精神保健の歴史と現代における意義・課題（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
3	社会構造の変化と新しい健康観（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
4	ライフサイクルと精神の健康（出生前～思春期）（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
5	ライフサイクルと精神の健康（青年期～老年期）（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	ストレスと精神の健康（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
7	生活習慣と精神の健康（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
8	精神の健康、精神疾患、身体疾患に由来する障害（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
9	発達障害と精神保健（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
10	うつ病と自殺防止対策（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
11	現代社会を取り巻く諸相と精神保健（長寿・認知症・少子化を巡って）（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
12	精神の健康に関する心的態度（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
13	精神保健に関する予防の概念と対象（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
14	精神保健に関する国、都道府県、市町村、団体などの役割と連携（担当：平川）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
15	精神保健に関する専門職種（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	

基本情報

科目名	発育発達論
時間割コード	0440305101
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	藤原 大樹
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(総合)

担当教員情報

教員名	
藤原 大樹	

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業の目的は、ジュニア、高齢者、女性、障害者など様々な対象に合わせたスポーツ指導を実施するために必要な発育発達に関する知識を深めることである。学修者は、ジュニア期の身体的・心理的特徴、スポーツ傷害、トレーニング方法、また中高年、女性、障害者の特徴を考慮した運動プログラムの重要性について説明できるようになる。
履修上の注意事項	
評価方法	期末試験50% 小レポート20% 小テスト30%
テキスト	なし
参考文献	発育・発達への科学的アプローチ：藤井勝紀(2007)三恵社 子どもの発育発達と健康：青柳領(2006)ナカニシヤ出版
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
予習：各回の講義におけるキーワードについて予習しておくこと(60分)	
復習：各回の講義において提示されるテーマについての理解度テスト、講義レポートを作成すること(60分)	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、発育発達とは、遺伝と環境	理解度テスト、講義レポート	
2	発育発達の基礎、トレーニングの至適年齢、生涯スポーツ	理解度テスト、講義レポート	
3	乳幼児期：身体的特徴、心理的特徴、運動発達	理解度テスト、講義レポート	
4	青少年期：身体的特徴、心理的特徴	理解度テスト、講義レポート	
5	青少年期：運動発達、体力要素	理解度テスト、講義レポート	
6	子どもの運動・身体活動、意義・恩恵、ジュニア期におけるコーチング	理解度テスト、講義レポート	
7	発育発達とスポーツ傷害、子どものスポーツ傷害予防	理解度テスト、講義レポート	
8	中高年者：身体的特徴・心理的特徴、加齢	理解度テスト、講義レポート	
9	中高年者：運動・スポーツの意義・恩恵、運動指導	理解度テスト、講義レポート	
10	女性：男女差、女性アスリート特有のスポーツ障害と対策	理解度テスト、講義レポート	
11	女性：ジェンダーとステレオタイプ、映画「プリティリーグ」	理解度テスト、講義レポート	
12	アダプテッドスポーツ：障害の定義と種類、アダプテッドスポーツの現状	理解度テスト、講義レポート	
13	アダプテッドスポーツ：アダプテッドスポーツ実習	理解度テスト、講義レポート	
14	アダプテッドスポーツ：福祉から競技へ、映画「マダーボール」	理解度テスト、講義レポート	
15	授業のまとめ	期末テストの準備	

基本情報

科目名	救急処置法
時間割コード	0440301001
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	火 3, 他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	井手 裕子
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(保健)

担当教員情報

教員名
井手 裕子、江崎 太一

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者が生命に関わる緊急を要する救命処置、頭、頸部外傷のような重大事故の救急処置、またスポーツ現場での事故を予測し、事故が発生した際の正しい知識・技術を身につけ、あらかじめ事故発生時における救急処置の対応計画を備える重要性や実施者の心得、緊急性を判断するための確かな障害評価の方法、熱中症、過換気症候群など内科疾患における救急処置の基本的な留意点と適切な手順を自ら実践出来るようになる。また、スポーツ現場で備えておくべき救急処置用機材に関する知識と利用法についても実践・説明できるようになる。
履修上の注意事項	実習に際しては適した服装で受講するようにすること。
評価方法	自主的学修態度30%、定期試験70%で判断し評価する レポートならびに試験への質問はオフィスアワーにて適宜受け付ける。
テキスト	公認アスレチックトレーナー専門科目テキスト 第8巻 財団法人日本スポーツ協会
参考文献	赤十字救急法基礎講習(7版)日本赤十字 赤十字救急法講習(15版)日本赤十字
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(井手)	事前学修60分・事後学修60分	
2	救急処置の基本的知識(井手)	事前学修60分・事後学修60分	
3	スポーツ現場における救急処置(井手)	事前学修60分・事後学修60分	
4	外傷時の救急処置(RICE処置、止血、テーピング)(井手)	事前学修60分・事後学修60分	
5	外傷時の救急処置(特殊な処置-理論)(江崎)	事前学修60分・事後学修60分	
6	外傷時の救急処置(特殊な処置-実技)(江崎)	事前学修60分・事後学修60分	
7	外傷時の救急処置(患部固定法、運搬法)(井手)	事前学修60分・事後学修60分	
8	緊急時の救命処置(CPR理論)(江崎)	事前学修60分・事後学修60分	
9	緊急時の救命処置(CPR実技・基礎)(江崎・井手)	事前学修60分・事後学修60分	
10	緊急時の救命処置(CPR実技2・応用)(江崎・井手)	事前学修60分・事後学修60分	
11	緊急時の救命処置(AED理論)(江崎)	事前学修60分・事後学修60分	
12	緊急時の救命処置(AED実技)(江崎・井手)	事前学修60分・事後学修60分	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	内科的疾患の救急処置（急性）（江崎）	事前学修60分・事後学修60分	
14	内科的疾患の救急処置（慢性）（井手）	事前学修60分・事後学修60分	
15	現場における救急体制（井手）	事前学修60分・事後学修60分	

基本情報

科目名	スポーツ社会学
時間割コード	0440111101
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	國木 孝治
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
國木 孝治

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>【授業の目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎から積み上げた体系的な教養を身につけたうえで、幅広い教養と高い倫理観・責任感を備え、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探求し問題を解決できる能力を身につけること。 ・過去から現在に至る体育・スポーツの諸問題及び課題について検討し、現代社会における体育・スポーツの社会的機能・役割について理解を深めること。 ・生涯スポーツ及び学校教育における体育・スポーツに関する身近な問題について、その社会的な背景を理解し、望まれる姿を模索するために必要な社会学的な基礎知識を獲得すること。 <p>【到達目標】</p> <p>(知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校体育とその教育における基礎的なものの見方・考え方を身に付けることができる。 ・社会体育・スポーツとその教育における基礎的なものの見方・考え方を身に付けることができる。 ・健康やスポーツに関する1) 2) を含んだ幅広いものの見方・考え方を身に付けることができる。 <p>(技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校体育に関する資料・情報を収集し、関連したテーマにまとめたり、批判的に検討できる。 ・社会体育・スポーツに関する資料・情報を収集し、関連したテーマにまとめたり、批判的に検討できる。 ・健康やスポーツに関する諸問題に関心を持ち、関連したテーマにまとめたり、批判的に検討できる。 <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <p>(全学DP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力を養う。 ・基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探求し問題を解決できる能力を養う。 <p>(学科DP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間を身体的・精神的・社会的存在として統合的に理解することができる。 ・科学的根拠に基づいた論理的思考と科学的に実践する方法論を身につけている。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・講義の展開が構造的に組み立てられているので、欠席しないように注意すること。 ・授業前に講義テーマに関連する情報を収集して授業に臨み、授業後は自らの情報と講義内容を関連づけて復習をすること。
評価方法	<p>【評価基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲(姿勢・ノート力等) : 40% ・レポート(提出度・考察力等) : 60% <p>授業毎にレポートを課し、授業内容の理解及び授業テーマに対する思考・考察について評価し、フィードバックを行う。</p>
テキスト	各回、配布資料を用意するので必要ない。

詳細情報

<p>参考文献</p>	<p>以下、予習・復習にあたる参考図書を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森川貞夫・佐伯聡夫（1998）スポーツ社会学講義，大修館書店． ・森川貞夫・依田充代（2001）今日からはじめるスポーツ社会学，共栄出版． ・依田充代（2004）改訂スポーツ社会学 - 歴史から学ぶスポーツの未来 - ，共栄出版． ・高橋明（2004）障害者とスポーツ，岩波新書． ・飯田貴子・能安貴美江・来田享子（2018）よくわかるスポーツとジェンダー ，ミネルヴァ書房． ・井上典之（2021）スポーツを法的に考える - 日本のスポーツと法・ガバナンス - ，信山社新書． ・原田宗彦（2020）スポーツ地域マネジメント-持続可能なまちづくりに向けた課題と戦略 - ，学芸出版社． ・時本識資・田畑亨・内藤正和（2019）はじめて学ぶスポーツ政策，アイオーエム． ・坂上康博（2001）スポーツと政治，山川出版社． ・齊藤まゆみ（2018）教養としてのアダブテッド体育・スポーツ学，大修館書店． ・日本スポーツとジェンダー学会（2016）データでみるスポーツとジェンダー，八千代出版． ・原田宗彦（2016）スポーツ都市戦略 - 2020年後を見すえたまちづくり - ，学芸出版社． ・黒田勇（2012）メディアスポーツへの招待，ミネルヴァ書房． ・平田竹男・河合純一・荒井 秀樹（2016）パラリンピックを学ぶ，早稲田大学出版部． ・井上俊・伊藤公雄（2010）身体・セクシュアリティ・スポーツ，世界思想社． ・アイヴァン・ウォディングトンほか（2014）スポーツと薬物の社会学： - 現状とその歴史的背景，彩流社． ・二宮雅也（2017）スポーツボランティア読本 - 「支えるスポーツ」の魅力とは？ - ，悠光堂．
<p>実務経験のある教員による授業</p>	<p>有</p>
<p>実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容</p>	<p>中学校及び高等学校勤務経験、及びスポーツ施設（スタジアム）管理運営経験</p>

授業計画

<p>授業計画</p>	
<p>毎回授業前に講義テーマに関連する情報を収集して授業に臨み、授業後は自らの情報と講義内容に関連づけて復習をすること。</p>	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	<p>授業ガイダンス： 社会学とは何か ・スポーツ社会学を学ぶ意義</p>	<p>スポーツ社会学の領域 スポーツの定義 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義やレポート課題の内容等を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）</p>	<p>授業ガイダンスを含む</p>
2	<p>文化としてのスポーツ</p>	<p>スポーツの概念と歴史 文化としてのスポーツ スポーツの文化的特徴 スポーツの意義と価値 なぜ「スポーツの意義と価値」を考えなければならないのか について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義やレポート課題の内容等を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）</p>	<p>ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習</p>
3	<p>スポーツの倫理</p>	<p>スポーツマンシップの意義 ルールの意義と法規範性 フェアプレイの精神 ガバナンスとコンプライアンス スポーツ倫理が問題となる事案 スポーツ仲裁 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義やレポート課題の内容等を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）</p>	<p>ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習</p>

授業計画

毎回授業前に講義テーマに関連する情報を収集して授業に臨み、授業後は自らの情報と講義内容を関連づけて復習をすること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	オリンピック・パラリンピック（他、ワールドカップ、国民体育大会等）の意義と価値	冠大会におけるスポーツの意義と価値について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義やレポート課題の内容等を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	ディスカッション・イベント グループワーク プレゼンテーション 実習
5	スポーツとジェンダー スポーツと性	スポーツを通じた女性の社会進出 スポーツとジェンダーに関する問題と スポーツと性別の問題 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義やレポート課題の内容等を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	ディスカッション・イベント グループワーク プレゼンテーション 実習
6	障がい者とスポーツ	障がい者スポーツの現状と課題 スポーツ指導者の育成 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義やレポート課題の内容等を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	ディスカッション・イベント グループワーク プレゼンテーション 実習
7	スポーツと暴力 ハラスメント 体罰	スポーツの中での暴力やハラスメント、 体罰問題 スポーツの自治 暴力、ハラスメント、体罰の根絶のために について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義やレポート課題の内容等を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	ディスカッション・イベント グループワーク プレゼンテーション 実習
8	スポーツとマスメディア	肥大化する放映権料 ビッグスポーツイベントと広告主企業の スポンサード スポーツとメディアの関係 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義やレポート課題の内容等を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	ディスカッション・イベント グループワーク プレゼンテーション 実習

授業計画

毎回授業前に講義テーマに関連する情報を収集して授業に臨み、授業後は自らの情報と講義内容に関連づけて復習をすること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	スポーツとドーピング	ドーピングをめぐる現状および背景 ドーピング防止機構、規定 禁止薬物と検査法、処分等 アンチ・ドーピングとしてのスポーツ 指導者の役割 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項につ いて下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義やレポート課題の 内容等を踏まえて、改めて教科書を読む （2時間）	ディスカッション・デ イベート グループワーク プレゼンテーション 実習
10	スポーツと政治：冠大会における課題	オリンピック、ワールドカップ、国民 体育大会を事例として、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項につ いて下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義やレポート課題の 内容等を踏まえて、改めて教科書を読む （2時間）	ディスカッション・デ イベート グループワーク プレゼンテーション 実習
11	スポーツ環境と政策	基本的人権としてのスポーツ権 スポーツの価値、自由 「スポーツ基本法」の意義や策定の経 緯、スポーツ権の内容 我が国におけるスポーツ政策の現状と 課題について （事前） 参考文献等を読み、わからない事項につ いて下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義やレポート課題の 内容等を踏まえて、改めて教科書を読む （2時間）	ディスカッション・デ イベート グループワーク プレゼンテーション 実習
12	スポーツビジネス	スポーツビジネスの現状と課題 スポーツマーケティングの現状と課題 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項につ いて下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義やレポート課題の 内容等を踏まえて、改めて教科書を読む （2時間）	ディスカッション・デ イベート グループワーク プレゼンテーション 実習
13	地域における体育・スポーツ	我が国のスポーツプロモーション スポーツ組織のマネジメント ・スポーツ組織の特性 ・総合型地域スポーツクラブ ・スポーツ少年団 ・その他の地域スポーツ団体組織 ・スポーツ指導者の役割 について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項につ いて下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義やレポート課題の 内容等を踏まえて、改めて教科書を読む （2時間）	ディスカッション・デ イベート グループワーク プレゼンテーション 実習

授業計画

毎回授業前に講義テーマに関連する情報を収集して授業に臨み、授業後は自らの情報と講義内容を関連づけて復習をすること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	学校教育における体育・スポーツ	学校体育の歴史 教育としてのスポーツ 学校体育と学校運動部活動 について 、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義やレポート課題の内容等を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	ディスカッション・イベント グループワーク プレゼンテーション 実習
15	スポーツ事故と責任 授業のまとめ	スポーツ事故の現状と法的責任 スポーツ事故のリスクマネジメント スポーツの今後の展望（スポーツを（に）学ぶ者の役割と課題） について、 （事前） 参考文献等を読み、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） （事後） ノートを整理し、講義やレポート課題の内容等を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	授業総括を含む

基本情報

科目名	運動学
時間割コード	0440451001
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	府内 勇希
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
府内 勇希

詳細情報

授業の目的・到達目標	スポーツの指導者には質の高い指導実践能力が要求され、これに加えて運動理論の基礎を理解しておく必要がある。本 科目では、運動及びスポーツ技能の合理的な修得段階や人間の発育発達段階および運動学の基礎について学習する。学 修者は、ヒトが成長する過程での運動及びスポーツ指導上の留意点を説明できるようになる。
履修上の注意事項	授業で学習した内容について理解を深めるために、特に復習に時間を充てること。
評価方法	レポート：20% 平常点、授業への貢献度：20% 試験：60%
テキスト	なし（資料を配布します）
参考文献	・金子明友 監修 『教師のための運動学 運動指導の実践理論』大修館書店 ・金子明友・朝岡正雄 著 『運動学講義』大修館書店
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	保健体育科教員として熊本県立第二高等学校に勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	運動学の概念について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
2	運動の発生と発達について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
3	運動学での体力について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
4	運動の学習過程について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
5	動きのアナラゴンについて説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
6	動きの構造について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
7	動きの局面分けを説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
8	動きのリズムについて説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
9	動きの修正の仕方について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
10	動きの習得について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
11	骨格系、筋系の概要について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
12	呼吸器系の概要について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
13	筋収縮について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
14	運動連鎖について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
15	まとめ	これまで学習した内容の総復習を行う（2時間）。	

基本情報

科目名	体力測定・評価
時間割コード	0440305501
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	木 3
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(総合)

担当教員情報

教員名
平崎 和雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>【目的】本科目では、保健体育教諭・スポーツ指導者に必要な知識を学ぶ。学修者は、健康・体力の維持、増進に携わる人材に不可欠な体力測定およびその評価の方法について理解し、年齢や体力レベルに応じて適切な運動処方について説明できるようになる。また、運動に対する身体の基本的な反応について説明できるようになる。</p> <p>【到達目標】測定評価の目的・意義を説明できる。形態の評価の目的・意義を説明し、実践できる。機器を用いた筋力の評価の目的・意義を説明し、実践できる。筋パワーの評価の目的・意義を説明し、実践できる。持久力の評価の目的・意義を説明し、実践できる。敏捷性、バランス機能の評価の目的・意義を説明し、フィールドにおける評価を実践できる。一般的体力測定の目的・意義を説明できる。心理アセスメントの目的・意義を説明できる。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】 (全学DP)「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力を養う。 (学科DP)人間を身体的・精神的・社会的存在として統合的に理解することが「できる」。</p>
履修上の注意事項	<p>中学校・高等学校保健体育教員免許取得希望者は必須。 日本スポーツ協会アスレティックトレーナー取得希望者は必須。 必ず運動できる服装で参加すること。また、体調を整えて参加すること。</p>
評価方法	レポート(60%)、受講態度(40%)
テキスト	使用しない。
参考文献	<p>トレーニング科学コース履修者は『アスレティックトレーナー専門科目テキスト 6.検査・測定と評価』 を購入すること。 適宜資料等は配布する。</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	アスレティックトレーナーとして病院勤務歴あり

授業計画

授業計画	
測定評価の目的・意義 機器を用いた筋力の評価 持久力の評価 一般的体力測定の評価	形態の評価 筋パワーの評価 敏捷性、バランス機能の評価 心理アセスメントの評価

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション 検査測定評価の意義を説明できる	<p>【事前学習】授業の内容・テキストを確認し、自身の課題を明確にしておく(2時間)</p> <p>【事後学習】授業の内容を振り返り必要な項目をノートにまとめておく(2時間)</p>	実習・グループワークでおこなう
2	形態(長育・身体組成)評価について実践、説明できる	<p>【事前学習】授業の内容・テキストを確認し、自身の課題を明確にしておく(2時間)</p> <p>【事後学習】授業の内容を振り返り必要な項目をノートにまとめておく(2時間)</p>	実習・グループワークでおこなう

授業計画

測定評価の目的・意義	形態の評価
機器を用いた筋力の評価	筋パワーの評価
持久力の評価	敏捷性、バランス機能の評価
一般的体力測定の評価	心理アセスメントの評価

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	形態（姿勢・アライメント）評価基ついで実践、説明できる	【事前学習】授業の内容・テキストを確認し、自身の課題を明確にしておく（2時間） 【事後学習】授業の内容を振り返り必要な項目をノートにまとめておく（2時間）。	実習・グループワークでおこなう
4	筋力（徒手筋力検査装置・等速性筋力測定装置）評価について実践・説明できる	【事前学習】授業の内容・テキストを確認し、自身の課題を明確にしておく（2時間） 【事後学習】授業の内容を振り返り必要な項目をノートにまとめておく（2時間）。	実習・グループワークでおこなう
5	筋力（ウエイトマシン・フリーウエイト）評価について実践・説明できる	【事前学習】授業の内容・テキストを確認し、自身の課題を明確にしておく（2時間） 【事後学習】授業の内容を振り返り必要な項目をノートにまとめておく（2時間）。	実習・グループワークでおこなう
6	筋パワー（メディシンボール投げ・脚伸展パワー）評価について実践・説明できる	【事前学習】授業の内容・テキストを確認し、自身の課題を明確にしておく（2時間） 【事後学習】授業の内容を振り返り必要な項目をノートにまとめておく（2時間）。	実習・グループワークでおこなう
7	筋パワー（無酸素性パワー）評価について実践・説明できる	【事前学習】授業の内容・テキストを確認し、自身の課題を明確にしておく（2時間） 【事後学習】授業の内容を振り返り必要な項目をノートにまとめておく（2時間）。	実習・グループワークでおこなう
8	持久力（生理学的指標）評価について実践・説明できる	【事前学習】授業の内容・テキストを確認し、自身の課題を明確にしておく（2時間） 【事後学習】授業の内容を振り返り必要な項目をノートにまとめておく（2時間）。	実習・グループワークでおこなう
9	持久力（フィールド指標）評価について実践・説明できる	【事前学習】授業の内容・テキストを確認し、自身の課題を明確にしておく（2時間） 【事後学習】授業の内容を振り返り必要な項目をノートにまとめておく（2時間）。	実習・グループワークでおこなう
10	敏捷性（認知・神経系）評価について実践・説明できる	【事前学習】授業の内容・テキストを確認し、自身の課題を明確にしておく（2時間） 【事後学習】授業の内容を振り返り必要な項目をノートにまとめておく（2時間）。	実習・グループワークでおこなう
11	バランス（直立検査・重心動揺SEBT）について実践・説明できる	【事前学習】授業の内容・テキストを確認し、自身の課題を明確にしておく（2時間） 【事後学習】授業の内容を振り返り必要な項目をノートにまとめておく（2時間）。	実習・グループワークでおこなう
12	心理的指標（POMS・JISS競技心理検査）評価について実践・説明できる	【事前学習】授業の内容・テキストを確認し、自身の課題を明確にしておく（2時間） 【事後学習】授業の内容を振り返り必要な項目をノートにまとめておく（2時間）。	実習・グループワークでおこなう

授業計画

測定評価の目的・意義	形態の評価
機器を用いた筋力の評価	筋パワーの評価
持久力の評価	敏捷性、バランス機能の評価
一般的体力測定の評価	心理アセスメントの評価

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	一般的な体力測定の目的・意義を説明できる	【事前学習】授業の内容・テキストを確認し、自身の課題を明確にしておく(2時間) 【事後学習】授業の内容を振り返り必要な項目をノートにまとめておく(2時間)。	実習・グループワークでおこなう
14	文部科学省新体力テストについて実践し結果を評価できる	【事前学習】授業の内容・テキストを確認し、自身の課題を明確にしておく(2時間) 【事後学習】授業の内容を振り返り必要な項目をノートにまとめておく(2時間)。	実習・グループワークでおこなう
15	文部科学省新体力テストについて実践し結果を評価できる	【事前学習】授業の内容・テキストを確認し、自身の課題を明確にしておく(2時間) 【事後学習】授業の内容を振り返り必要な項目をノートにまとめておく(2時間)。	実習・グループワークでおこなう

基本情報

科目名	スポーツ傷害の評価
時間割コード	0440305701
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(総合)

担当教員情報

教員名
平崎 和雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者が、アスレティックトレーナーはスポーツ障害を評価する上で必要な、スポーツ動作の観察と分析の意義や基礎知識、スキルについて分かりやすく解説し、歩行動作や走動作、投動作などの各動作の基礎知識を習得、競技特性を理解しながら応用し、スポーツ選手の障害の予防やコンディショニングにつなげられる評価スキルを身に着けることができる。
履修上の注意事項	授業前に前回の作成した図表を復習し、授業後は次回のテキストを予習し動作のイメージをしておくこと(120分)
評価方法	試験70%、課題レポート20%、予習復習による自主的学習態度10%
テキスト	講義中に資料を配布する
参考文献	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5 「検査・測定と評価」 財団法人日本スポーツ協会
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	平崎和雄：アスレティックトレーナーとして病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	スポーツ障害の評価の目的と意義	【事前学修】テキスト指定範囲を事前に熟読し分からない事項については下調べしておくこと(2時間) 【事後学修】ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べる。また、講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。(2時間)	
2	スポーツ障害の評価とEBM	【事前学修】テキスト指定範囲を事前に熟読し分からない事項については下調べしておくこと(2時間) 【事後学修】ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べる。また、講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。(2時間)	
3	歩行のバイオメカニクス	【事前学修】テキスト指定範囲を事前に熟読し分からない事項については下調べしておくこと(2時間) 【事後学修】ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べる。また、講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
4	歩行動作に影響する要因	【事前学修】テキスト指定範囲を事前に熟読し分からない事項については下調べしておくこと(2時間) 【事後学修】ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べる。また、講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。(2時間)	
5	走動作のバイオメカニクス	【事前学修】テキスト指定範囲を事前に熟読し分からない事項については下調べしておくこと(2時間) 【事後学修】ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べる。また、講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。(2時間)	
6	走動作に影響を与える要因	【事前学修】テキスト指定範囲を事前に熟読し分からない事項については下調べしておくこと(2時間) 【事後学修】ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べる。また、講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。(2時間)	
7	走動作における外傷、障害の発生機転の特徴とメカニズム	【事前学修】テキスト指定範囲を事前に熟読し分からない事項については下調べしておくこと(2時間) 【事後学修】ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べる。また、講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。(2時間)	
8	ストップ、方向転換動作のバイオメカニクスと影響因子	【事前学修】テキスト指定範囲を事前に熟読し分からない事項については下調べしておくこと(2時間) 【事後学修】ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べる。また、講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。(2時間)	
9	跳動作のバイオメカニクスと影響を与える因子	【事前学修】テキスト指定範囲を事前に熟読し分からない事項については下調べしておくこと(2時間) 【事後学修】ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べる。また、講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。(2時間)	
10	跳動作の外傷、障害の発生メカニズムの特徴	【事前学修】テキスト指定範囲を事前に熟読し分からない事項については下調べしておくこと(2時間) 【事後学修】ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べる。また、講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
11	投動作のバイオメカニクスと影響を与える因子	<p>【事前学修】テキスト指定範囲を事前に熟読し分からない事項については下調べしておくこと(2時間)</p> <p>【事後学修】ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べる。また、講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。(2時間)</p>	
12	投動作の外傷、障害の発生メカニズムの特徴	<p>【事前学修】テキスト指定範囲を事前に熟読し分からない事項については下調べしておくこと(2時間)</p> <p>【事後学修】ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べる。また、講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。(2時間)</p>	
13	あたり動作のバイオメカニクスと影響を与える因子	<p>【事前学修】テキスト指定範囲を事前に熟読し分からない事項については下調べしておくこと(2時間)</p> <p>【事後学修】ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べる。また、講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。(2時間)</p>	
14	あたり動作の外傷、障害の発生メカニズムの特徴	<p>【事前学修】テキスト指定範囲を事前に熟読し分からない事項については下調べしておくこと(2時間)</p> <p>【事後学修】ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べる。また、講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。(2時間)</p>	
15	まとめ	<p>【事前学修】テキスト指定範囲を事前に熟読し分からない事項については下調べしておくこと(2時間)</p> <p>【事後学修】ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べる。また、講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。(2時間)</p>	

基本情報

科目名	生理学
時間割コード	0440200401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	金 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	田口 太郎
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目(人体)

担当教員情報

教員名	
田口 太郎	

詳細情報

授業の目的・到達目標	鍼灸学を基礎とした医学・医療の専門知識を身につけるためには、正常な人体の機能(生理学)の正しい理解が必要不可欠である。生理学では、まず生理学の基礎として細胞機能および活動電位の仕組みを説明できるようになること、続いて、血液および心機能と血液循環、呼吸に関する基礎理論を理解し、これらの正常状態を正しく説明できるようになることを目的とする。また、サブテキストを用いた小テストを通して、さらに理解を深める。
履修上の注意事項	事前学修課題および事後学修課題はキャンパススクエアで通知を行います。毎回の授業開始前に回収し、次週までに返却します。
評価方法	毎回の課題30点、筆記試験70点、合計100点とする。再試験は筆記試験のみで評価する。
テキスト	1. 「生理学(第3版)」編:内田さえ 他, 医歯薬出版 2. 「シンプル生理学(改訂第8版)」著:貴邑富久子/根来英雄. 南江堂 3. 「生理学マスター」著:影山照雄. 医道の日本社
参考文献	1. 「標準生理学(第9版)」監修:本間研一. 医学書院
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	鍼灸師として実務経験

授業計画

授業計画	
事前学修:	事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと(2時間/週)
事後学修:	講義中に返却された課題について修正を行い、内容について説明ができるようにすること(2時間/週)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	生理学の基礎:人体の構成、細胞の構造と働き	「授業計画」欄記載の通り	
2	生理学の基礎:体液の組成と働き、物質代謝、物質移動	「授業計画」欄記載の通り	
3	血液:赤血球、ヘモグロビン、鉄代謝、血液型	「授業計画」欄記載の通り	
4	血液:白血球、免疫	「授業計画」欄記載の通り	
5	血液:血小板、血液凝固と線溶	「授業計画」欄記載の通り	
6	呼吸:呼吸器系の構造、換気機能、呼吸力学	「授業計画」欄記載の通り	
7	呼吸:ガス交換、呼吸ガスの運搬	「授業計画」欄記載の通り	
8	呼吸:呼吸運動の調節	「授業計画」欄記載の通り	
9	酸塩基平衡	「授業計画」欄記載の通り	
10	循環:大循環、小循環、動脈と静脈	「授業計画」欄記載の通り	
11	循環:心臓の構造と働き、刺激伝導系	「授業計画」欄記載の通り	
12	循環:心臓の自律神経による調節、心臓の収縮、心電図	「授業計画」欄記載の通り	
13	循環:血管の構造と機能、血行力学	「授業計画」欄記載の通り	
14	循環:循環調節	「授業計画」欄記載の通り	
15	循環:特殊部位の循環、リンパ循環	「授業計画」欄記載の通り	

基本情報

科目名	生理学
時間割コード	0440200501
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	田口 太郎
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目(人体)

担当教員情報

教員名	
野口 恭庸、田口 太郎	

詳細情報

授業の目的・到達目標	鍼灸学を基礎とした医学・医療の専門知識並びにスポーツ科学に関する幅広い知識を身につけるためには、正常な人体の機能(生理学)の正しい理解が必要不可欠である。生理学では、消化・吸収と代謝機能、腎機能と体液の調節および筋と神経に関する生理機能の基本的な仕組みを説明できるようになることを目的とする。また、サブテキストを併用した小テストを通して、さらに理解を深める。
履修上の注意事項	事前学修・事後学修は指示の通り必ず行うこと。
評価方法	小テスト5点×3回、課題15点、筆記試験70点、合計100点とし、60点以上を合格とする。再試験は筆記試験のみで評価する。
テキスト	1. 「生理学(第3版)」編:内田さえ 他, 医歯薬出版 2. 「シンプル生理学(改訂第8版)」著:貴邑富久子/根来英雄. 南江堂 3. 「生理学マスター」著:影山照雄. 医道の日本社
参考文献	1. 「標準生理学(第9版)」監修:本間研一 医学書院
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	田口:鍼灸師として実務経験 野口:鍼灸師として実務経験

授業計画

授業計画	
事前学修:	事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと(2時間/週)
事後学修:	講義中に返却された課題について修正を行い、内容について説明ができるようにしておくこと(2時間/週)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	消化と吸収:消化管の構造と神経支配(田口)	「授業計画」欄記載の通り	
2	消化と吸収:消化管運動(田口)	「授業計画」欄記載の通り	
3	消化と吸収:消化液の働きと調節(田口)	「授業計画」欄記載の通り	
4	消化と吸収:栄養素の分解と吸収(田口)	「授業計画」欄記載の通り	
5	代謝:栄養素の働き、エネルギー代謝(田口)(小テスト)	「授業計画」欄記載の通り	
6	神経:活動電位、イオンチャンネル、シナプス伝達(神経筋接合部、中枢神経系のシナプス伝達)(野口)	「授業計画」欄記載の通り	
7	神経:運動系 脊髄、脳幹(運動ニューロン・伸張反射)(野口)	「授業計画」欄記載の通り	
8	神経:運動系-小脳、大脳基底核(野口)	「授業計画」欄記載の通り	
9	神経:脳の統合機能-大脳皮質、大脳辺縁系(野口)	「授業計画」欄記載の通り	
10	神経:脳の統合機能-脳波、睡眠、学習、記憶(野口)(小テスト)	「授業計画」欄記載の通り	
11	排泄:腎臓の機能的構造、糸球体ろ過(田口)	「授業計画」欄記載の通り	

授業計画

事前学修：事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと（2時間/週）

事後学修：講義中に返却された課題について修正を行い、内容について説明ができるようにしておくこと（2時間/週）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	排泄：尿細管の機能、尿の濃縮（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
13	排泄：体液の調節、浸透圧、蓄尿と排尿（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
14	筋：骨格筋の構造と機能、収縮、心筋と平滑筋（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
15	体温：体温調節、体熱の産生と放散（小テスト）（田口）	「授業計画」欄記載の通り	

基本情報

科目名	生理学（講義・演習）
時間割コード	0440200601
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	田口 太郎
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目（人体）

担当教員情報

教員名
田口 太郎、浅井 福太郎、花田 雄二、江崎 太一

詳細情報

授業の目的・到達目標	鍼灸学を基礎とした医学・医療の専門知識並びにスポーツ科学に関する幅広い知識を身につけるためには、正常な人体の機能（生理学）の正しい理解が必要不可欠である。生理学で一通り学んだ内容を基礎として、ホメオスタシスおよび感覚機能に関する機能の仕組みを説明できるようになることを目的とする。また、演習では実際にデータを測定し、その解釈を通して生理学的現象を説明できるようになることを目的とする。
履修上の注意事項	講義：必ず該当項目の解剖学を復習しておくこと。事前・事後学修課題はキャンパススクエアで通知し、毎回講義開始時に集めるので指示の通り準備すること。 演習：レポートの提出がない場合はその項目は評価できないので注意すること。
評価方法	筆記試験50点・演習25点・毎講義の課題15点・小テスト5点×2回。再試験は筆記試験のみで評価する。
テキスト	1. 「生理学（第3版）」編：内田さえ 他，医歯薬出版 2. 「シンプル生理学（改訂第8版）」著：貴邑富久子/根来英雄．南江堂 3. 「生理学マスター」著：影山照雄．医道の日本社
参考文献	1. 「標準生理学（第9版）」監修：本間研一 医学書院
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	田口・浅井・花田：鍼灸師として実務経験 江崎：医師として実務経験

授業計画

授業計画	
【講義】	
事前学修：事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと（1時間/週）	
事後学修：講義中に返却された課題について修正を行い、内容について説明ができるようにすること（1時間/週）	
【演習】	
事前学修：演習の手引きに記載されている内容を熟読し、用語や手順について下調べを行うこと（1時間/週）	
事後学修：実施した演習で指示された課題を作成すること（1時間/週）	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	内分泌：ホルモンの作用機序と調節、視床下部・下垂体（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
2	内分泌：副腎皮質・副腎髄質・甲状腺・膵臓（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
3	内分泌：カルシウム代謝の調節、性ホルモン（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
4	生殖・成長と老化：生殖、妊娠と出産、成長、老化（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
5	自律神経系：自律神経の働き・神経線維、伝達物質と受容体【小テスト】（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
6	自律神経系：自律神経系の中樞、自律神経反射（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
7	感覚：感覚の種類と一般的性質（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
8	感覚：体性感覚、内臓感覚（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
9	感覚：特殊感覚（田口）	「授業計画」欄記載の通り	

授業計画

【講義】

事前学修：事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと（1時間/週）

事後学修：講義中に返却された課題について修正を行い、内容について説明ができるようにすること（1時間/週）

【演習】

事前学修：演習の手引きに記載されている内容を熟読し、用語や手順について下調べを行うこと（1時間/週）

事後学修：実施した演習で指示された課題を作成すること（1時間/週）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	演習（1）心電図の測定（江崎・田口・浅井・花田）	「授業計画」欄記載の通り	
11	演習（2）負荷心電図 トレッドミル（江崎・田口・浅井・花田）	「授業計画」欄記載の通り	
12	演習（3）負荷心電図 エルゴメータ（江崎・田口・浅井・花田）	「授業計画」欄記載の通り	
13	演習（4）二点弁別閾の測定（江崎・田口・浅井・花田）	「授業計画」欄記載の通り	
14	生体の防御機構（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
15	身体活動の協調：適応、恒常性維持、バイオリズム（田口）	「授業計画」欄記載の通り	

基本情報

科目名	運動生理学
時間割コード	0440201201
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	手嶋 智子
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目(人体)

担当教員情報

教員名	
手嶋 智子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	1.学修者は体の構造と機能に関する基礎を理解し、説明できるようになる。 2.学修者は運動に対する体の応答や運動トレーニングによる体の適応を理解し、説明できるようになる。 3.学修者は特殊環境下での運動時のからだの働きを理解し、説明できるようになる。
履修上の注意事項	授業前には資料や参考文献に目を通し、授業で取り扱う内容を大まかに把握しておくこと。また、毎回の授業終了後、授業内容の理解を深めるよう各自努めること。予習・復習を120分間すること。
評価方法	講義内提出物および期末筆記試験による(100%)
テキスト	授業内にプリントを配布
参考文献	健康運動指導士要請講習会テキスト
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
事前学修：授業前には資料や参考文献に目を通し、授業で取り扱う内容を大まかに把握しておくこと。(60分)	
事後学修：毎回の授業終了後、授業内容の理解を深めるよう各自努めること。(60分)	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	骨格筋と運動(筋線維の種類とその特徴)		
2	骨格筋と運動(筋収縮とエネルギー供給)		
3	運動と呼吸		
4	運動と循環(心臓)		
5	運動と循環(末梢)		
6	脳と運動		
7	神経系による運動の調節(中枢神経)		
8	神経系による運動の調節(末梢神経)		
9	運動と内分泌		
10	運動と免疫		
11	運動と環境		
12	運動と体温調節		
13	運動と栄養		
14	運動と発育・発達		
15	運動と老化		

基本情報

科目名	公衆衛生学
時間割コード	0440130301
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	金 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
嶋 政弘、阿部 敦

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1 ディプロマ・ポリシーに示された能力の育成を意識した内容・展開を目指す。</p> <p>2 現代における健康課題を理解するために、その基礎となる知識と技能を習得する。</p> <p>3 私たちを取り巻く自然・社会環境や人々の活動を理解し、心身ともに健康で豊かなQOLの向上を目指すことができる。</p>
履修上の注意事項	<p>1 ペアによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。</p> <p>2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。</p>
評価方法	ディスカッションへの参加50%、期末試験50%で評価する。 再試験は実施する。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回、資料（学習プリント）を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>現代の生活様式や環境に起因する様々な健康課題に関心を持ち、それに対し、私たちはどのようにかかわっていくかというテーマで構成する。</p> <p>そのために、ペアを中心としたディスカッションを随所に仕組み、根拠を示しながら自分なりの考えを述べることを目指す。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	健康の定義と位置づけ	講義の特性から、事前学修は難しいが、事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。事後学修（2）	
2	健康の要因と公衆衛生の特徴	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。（2）	
3	予防医学とヘルスプロモーション	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。（2）	
4	健康な社会を目指して 健康の測定と健康指標	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。（2）	
5	健康な社会を目指して 人口に関する現状と課題を中心に	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。（2）	
6	集団の傾向の把握 疫学的考えに基づく解析	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。（2）	
7	集団の傾向の把握 データの種類と解釈	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。（2）	

授業計画

現代の生活様式や環境に起因する様々な健康課題に関心を持ち、それに対し、私たちはどのようにかかわっていくかというテーマで構成する。

そのために、ペアを中心としたディスカッションを随所に仕組み、根拠を示しながら自分なりの考えを述べることを目指す。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	感染症とその予防 感染症成立の条件と発症までの経緯データの種類と解釈	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	
9	感染症とその予防 感染症に関する現状と傾向（予防と根絶を含む）	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	
10	食品保健と栄養 食品の安全（食中毒）と現状（予防と根絶を含む）	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	
11	食品保健と栄養 食品の機能と安全性	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	
12	生活習慣病 主な生活習慣病の原因と健康影響（予防と対策を含む）	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	
13	公衆衛生の発展に寄与した人物（高木兼寛を例に）	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	
14	健康づくりと行政（阿部）	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	
15	福祉と健康づくり（阿部）	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	

基本情報

科目名	環境衛生学
時間割コード	0440130401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	星野 輝彦
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
星野 輝彦

詳細情報

授業の目的・到達目標	環境因子と人との相互関係に関する知識について学ぶ。 生活環境の安全の確保と健康の維持・増進の重要性を認識できるようになる。
履修上の注意事項	授業前にプリントを読み、わからない語句を調べる。また授業で得た知識を復習しておくこと（60分）。 出欠は出席カードを用います。出席カードの裏に講義の質問や感想を書くこと。次回講義の際回答します。
評価方法	試験90%、レポート10%（レポートは採点して学生へ返却する。）
テキスト	各講義の際に資料を配布する。
参考文献	「環境 ここがポイント」斉藤勝裕（三共出版） 「新しい環境科学」鈴木孝弘（駿河台出版社）
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	薬剤師として学校環境衛生管理に関与している。

授業計画

授業計画
スライドや動画を利用します。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	環境衛生学概論：環境衛生の歴史	環境と人類の共存 事前：2時間、事後：4時間	
2	環境因子と人体：環境物質の体内動態と毒性、安全の基準	体内動態と毒性発現 事前：2時間、事後：4時間	
3	環境化学：生態系と物質動態	生態系の構造と環境の中の物質の動態 事前：2時間、事後：4時間	
4	地球環境の化学：オゾン層破壊、地球温暖化、酸性雨	地球温暖化 事前：2時間、事後：4時間	
5	環境因子と健康：化学的因子（重金属、農薬、工業薬品など）の健康への影響	化学物質の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
6	環境因子と健康：化学的因子（環境ホルモンなど）の健康への影響	環境ホルモン 事前：2時間、事後：4時間	
7	環境因子と健康：生物学的因子（病原微生物など）の健康への影響	病原微生物の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
8	環境因子と健康：物理的因子（放射線など）の健康への影響	放射線の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
9	環境因子と健康：物理的因子（温熱、圧力、騒音など）健康への影響	温度、気圧、騒音などによる健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
10	大気環境と健康：大気汚染の状況と対策	大気汚染の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
11	水環境と健康：水に由来する健康被害、水質汚濁状況と対策	水による健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
12	食品環境と健康：食品汚染と食中毒	食品汚染による健康被害 事前：2時間、事後：4時間	

授業計画

スライドや動画を利用します。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	生活環境と健康：室内の汚染物質	室内の汚染物質 事前：2時間、事後：4時間	
14	生活環境と健康：廃棄物の分類と処理方法	廃棄物の分類 事前：2時間、事後：4時間	
15	環境影響評価と対策：環境アセスメント	環境アセスメント 事前：2時間、事後：4時間	